



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月7日
上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社
 コード番号 2587 URL <http://www.suntory.co.jp/sbf/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥井 信宏
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 市本 徹雄 TEL 03-3275-7022
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	271,187	23.2	10,042	8.1	9,199	8.8	2,875	0.8
25年12月期第1四半期	220,116	6.5	9,288	55.4	8,454	75.1	2,852	519.2

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △1,962百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 23,060百万円 (7.4%)

(参考) EBITDA 26年12月期第1四半期 284億円 (14.6%) 25年12月期第1四半期 248億円 (26.5%)

指標の定義、計算方法等の詳細は「セグメント情報等」8ページをご覧ください。

のれん償却前四半期純利益 26年12月期第1四半期 91億円 (8.7%)

25年12月期第1四半期 84億円 (52.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	9.31	—
25年12月期第1四半期	13.21	—

(注) 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,287,943	573,083	41.8
25年12月期	1,256,701	592,968	44.4

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 537,963百万円 25年12月期 558,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	58.00	58.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期 (予想)	—	29.00	—	29.00	58.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成25年12月期末配当金：上場記念特別配当5円00銭を含みます。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,260,000	12.4	85,000	16.9	78,000	16.0	35,000	12.2	113.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) EBITDA 26年12月期通期 (予想) 1,600億円 (14.6%)

のれん償却前当期純利益 26年12月期通期 (予想) 585億円 (7.5%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	309,000,000株	25年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	一株	25年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	309,000,000株	25年12月期1Q	216,000,000株

(注) 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(2014年1月1日～2014年3月31日)の世界経済は、一部に弱さが見られるものの、全体としては回復基調で推移しました。わが国経済についても、企業収益の改善や個人消費の増加が見られる等、景気は緩やかに回復しました。また、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も見られました。

このような状況の中、当社グループはブランド強化により需要を喚起し、国内・国際事業両輪で更なる成長を図りました。また、各社の知見を活かしたグループ全体での品質の向上や、コスト革新による収益力強化にも取り組みました。

国内セグメントでは重点ブランドの強化やコスト削減等、これまで進めてきた取り組みを継続・強化し、更なる利益成長に向けて一層強固な事業構造へと変革を進めました。また、付加価値の高い特定保健用食品での新商品投入等により、新たな需要を創造しました。

国際セグメントでは、各エリアにおける重点ブランドの更なる強化やコスト削減に加え、欧州、アジアにおいては今後の売上、利益の成長に向けた事業基盤の強化に取り組みました。また、1月には英国の象徴的ブランドである「ルコゼード Lucozade」ライビーナ「Ribena」の製造・販売事業を譲り受けたLucozade Ribena Suntory Limitedが事業を開始しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,712億円(前年同期比23.2%増)、営業利益は100億円(前年同期比8.1%増)、経常利益は92億円(前年同期比8.8%増)、四半期純利益は29億円(前年同期比0.8%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[国内セグメント]

「サントリー天然水」は国内事業の中核ブランドとして、「清冽でおいしい水」「ナチュラル&ヘルシー」をブランド独自の価値として訴求し、販売数量を大幅に伸ばしました。また、「サントリー 南アルプスの天然水 スパークリング」「同 レモン」は、無糖炭酸水市場の拡大にも貢献しました。

「BOSS」は主力商品(「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」等)において、昨年来取り組んできたブランド強化活動が奏功し、販売数量が大幅に伸びました。また、1月に発売した特定保健用食品の缶コーヒー「ボス グリーン」も売上増に貢献しました。

「伊右衛門」ブランドは「伊右衛門」「贅沢冷茶」の2本柱に加え、昨年10月に発売した特定保健用食品「特茶」が引き続き好調に推移し、販売数量を伸ばしました。

「PEPSI」は、3月に中味・パッケージをリニューアルした「ペプシネックス ゼロ」の話題性ある広告宣伝活動も奏功し、販売数量が大きく伸びました。

「サントリー ウーロン茶」は広告や店頭活動において肉料理との相性の良さを訴求したマーケティング活動を展開し、販売数量は前年同期を上回りました。

機能性飲料「GREEN DA・KA・RA」は、冬場の乾燥対策の水分補給飲料としての認知度が高まり、販売数量[※]は前年同期からほぼ倍増となりました。果汁入り炭酸飲料「オレンジーナ」は販売数量が前年同期を若干下回りましたが、「オンリーワン」の価値をもつ商品として引き続きお客様からご支持をいただいております。

※販売数量には「GREEN DA・KA・RA やさしい麦茶」を含みます。

健康志向の高まりを背景に注目を集める特定保健用食品は、当社が市場拡大を牽引しました。前述の「伊右衛門 特茶」「ボス グリーン」に「サントリー 黒烏龍茶」「サントリー 胡麻麦茶」「ペプシ スペシャル」を加えた特定保健用食品合計で、大幅に販売数量を伸ばしました。

広告宣伝等のマーケティング投資を強化したことによる重点ブランドの成長に加え、消費税増税前の駆け込み需要もあり、第1四半期としては過去最高の販売数量を達成しました。また、生産・物流におけるコスト革新を引き続き行い、収益性向上にも取り組みました。

これらの結果、国内セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国内セグメント売上高 1,566億円(前年同期比10.4%増)
国内セグメント利益 73億円(前年同期比15.6%増)

〔国際セグメント〕

欧州では、フランスやスペインにおいて主力ブランドの「Orangina」「Schweppes」に集中してマーケティング活動を実施しました。英国においては製造・販売事業を譲り受けた「Lucozade」「Ribena」が堅調に推移しました。また、欧州全体での成長及び事業の強化に向け、事業統括会社Suntory Beverage & Food Europe Limitedを発足させました。

オセアニアでは、主力のエナジードリンク「V」の新フレーバー商品を投入する等、ブランド強化に取り組みました。

アジアでは、経済成長が続く各国において事業基盤の強化や、新商品の投入等による事業拡大に積極的に取り組みました。タイでは不安定な経済環境が、主力の健康食品「BRAND'S Essence of Chicken」の販売に影響しましたが、インドネシアではサントリーブランドの「MYTEA[ウーロン茶]」が好調だったほか、3月には国内で培った研究開発技術を活かしたコーヒードリンク「De' Koffie」^{デコフィ}を発売しました。ベトナムではペプシブランドに加え、サントリーブランドの「TEA+[ウーロン茶]」が市場に浸透し、売上増に貢献しました。

米州ではノースカロライナ州を中心にペプシブランドの更なる販売強化に加え、営業や物流等、事業効率の改善を進めました。

各エリアにおける売上増大の活動に加え、国内で培った研究開発技術やコスト改善のためのノウハウを海外へ展開し、品質の向上及び収益力強化に取り組みました。また、更なる成長に向けて、欧州、アジアの事業統括機能を強化しました。

これらの結果、国際セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国際セグメント売上高	1,146億円 (前年同期比46.5%増)
国際セグメント利益	90億円 (前年同期比5.6%増)

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品等の増加により、前連結会計年度末に比べ312億円増加して1兆2,879億円となりました。

負債は、法人税支払による未払法人税等の減少があった一方で、支払手形及び買掛金、有利子負債等の増加により、前連結会計年度末に比べ511億円増加して7,149億円となりました。

純資産は、配当金支出による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ199億円減少して5,731億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2014年12月期の連結業績予想については、2014年2月14日に発表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,869	62,867
受取手形及び売掛金	126,116	142,966
商品及び製品	40,140	45,573
仕掛品	2,991	3,711
原材料及び貯蔵品	24,523	26,569
その他	44,000	48,809
貸倒引当金	△320	△352
流動資産合計	283,321	330,146
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	133,396	130,054
その他	179,424	182,162
有形固定資産合計	312,820	312,217
無形固定資産		
のれん	400,050	388,840
商標権	184,942	182,836
その他	37,656	36,706
無形固定資産合計	622,649	608,383
投資その他の資産		
投資有価証券	17,820	18,050
その他	19,800	18,737
貸倒引当金	△842	△605
投資その他の資産合計	36,778	36,183
固定資産合計	972,249	956,784
繰延資産	1,131	1,011
資産合計	1,256,701	1,287,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,794	104,392
電子記録債務	14,696	14,524
短期借入金	156,772	75,692
コマーシャル・ペーパー	16,000	14,000
未払法人税等	11,227	7,444
賞与引当金	3,949	4,284
リース債務	1,432	1,322
その他	142,764	151,535
流動負債合計	446,636	373,195
固定負債		
長期借入金	129,346	254,486
退職給付引当金	6,320	6,381
役員退職慰労引当金	23	21
リース債務	2,760	2,539
その他	78,645	78,233
固定負債合計	217,096	341,663
負債合計	663,733	714,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	192,701	192,701
利益剰余金	141,077	126,031
株主資本合計	502,163	487,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	963	1,013
繰延ヘッジ損益	264	△91
為替換算調整勘定	54,809	49,924
その他の包括利益累計額合計	56,037	50,846
少数株主持分	34,767	35,119
純資産合計	592,968	573,083
負債純資産合計	1,256,701	1,287,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	220,116	271,187
売上原価	98,190	125,971
売上総利益	121,925	145,216
販売費及び一般管理費	112,636	135,174
営業利益	9,288	10,042
営業外収益		
受取利息	75	68
受取配当金	32	43
持分法による投資利益	101	166
為替差益	87	296
その他	194	172
営業外収益合計	490	746
営業外費用		
支払利息	1,257	1,122
その他	66	466
営業外費用合計	1,324	1,589
経常利益	8,454	9,199
特別利益		
固定資産売却益	7	64
受取保険金	1,053	—
その他	0	15
特別利益合計	1,061	80
特別損失		
固定資産廃棄損	592	656
組織再編関連費用	1,138	1,237
その他	53	71
特別損失合計	1,784	1,966
税金等調整前四半期純利益	7,731	7,313
法人税等	4,387	3,797
少数株主損益調整前四半期純利益	3,343	3,516
少数株主利益	491	640
四半期純利益	2,852	2,875

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,343	3,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290	49
繰延ヘッジ損益	904	△356
為替換算調整勘定	18,042	△5,046
持分法適用会社に対する持分相当額	479	△125
その他の包括利益合計	19,716	△5,479
四半期包括利益	23,060	△1,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,541	△2,315
少数株主に係る四半期包括利益	1,519	352

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	141,884	78,231	220,116	—	220,116
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	152	152	△152	—
計	141,884	78,383	220,268	△152	220,116
セグメント利益 (注) 3	6,319	8,533	14,853	△5,564	9,288

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	6,319	8,533	14,853
減価償却費	7,309	2,622	9,931
EBITDA	13,628	11,155	24,784

EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	29,728	10,163	22,366	15,972	78,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	—	—	—	152
計	29,881	10,163	22,366	15,972	78,383
セグメント利益	3,568	1,304	2,341	1,318	8,533
減価償却費	967	301	670	683	2,622
EBITDA	4,535	1,605	3,012	2,001	11,155

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	156,598	114,589	271,187	-	271,187
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	345	345	△345	-
計	156,598	114,934	271,533	△345	271,187
セグメント利益 (注) 3	7,307	9,007	16,315	△6,272	10,042

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	7,307	9,007	16,315
減価償却費	7,519	4,575	12,094
EBITDA	14,827	13,583	28,410

EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	55,205	10,237	33,387	15,759	114,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	345	-	-	-	345
計	55,551	10,237	33,387	15,759	114,934
セグメント利益	4,711	1,103	1,921	1,271	9,007
減価償却費	2,065	335	1,492	681	4,575
EBITDA	6,776	1,438	3,414	1,953	13,583

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。